

[REAL TIMES は外国人地震情報センターが発信する、外国人支援者向け情報誌です。]  
外国人地震情報センター TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

## ■おもな項目 (95.4.10.~4.17.)

1. 外国人被災者支援連絡協議会 代表者会 -4.11. KCC会館にて
2. 第9回 地元NGO/外国人救援ネット -4.17. 中山手教会にて
3. イベントのご案内

(全3ページ)

## ■兵庫県援護金・神戸市見舞金 受付・給付窓口が開かれます (神戸市)

これまで郵送で受け付けていた神戸市の見舞金・援護金の申請は3月31日で終了しましたが、4月25日から新たに窓口が開設され、申請とともに支給されます。

受け付け期間：4月25日～5月12日 (土・日・祝は休み)、午前9時～午後5時。

**対 象**：神戸市内に住み、震災により住み家が全半壊・全半焼の被害を受け、既に日赤一次義捐金を受け取った世帯で、3月31日までの受付期間に申請できなかったもの。

金 額	1世帯当たり	神戸市見舞金	兵庫県援護金
(1) 住居の全壊・全焼	40,000円	100,000円	
(2) 住居の半壊・半焼	20,000円	50,000円	

**受付場所**：中央区：市民福祉交流センター 東灘区：区民センター東隣 仮設テント  
灘区：都賀川公園 (上河原橋南) 兵庫区：湊川公園仮設  
北区：北区区民ホール 長田区：長田区役所  
須磨区：須磨区役所・北須磨支所 垂水区：垂水勤労市民センター  
西区：西区役所公会堂 (レバンテ垂水内)

**申請方法**：り災証明書のコピー (日赤義捐金1次配分交付済みの押印のあるもの) と身分証明書、印鑑 (なければサイン) を持参し窓口で申請書を記入、提出。

日赤義捐金の1次配分交付 (在留資格を問わず支給) が基準となっているので、国籍・在留資格は (結果的に) 問われません。神戸市以外では申請方法や金額が異なります。そのほか外国人にも支給される義捐金・援護金などがあります。代理申請ができる場合はセンターでもお手伝いします。お問い合わせ下さい。

## ■外国人地震情報センター概要■

母国語ホットライン、ニュースレターなど、外国人への情報提供を軸に被災者の支援活動を行っている。

[代表] 丹羽雅雄  
[事務局長] 田村太郎  
[所在地] 〒540 大阪市中央区常盤町1-4-12  
常盤セントラルビル 3階  
TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

活動継続へご支援を!!  
活動資金が不足しています。  
ご協力をお願いします。  
郵便振込口座：00940-3-38938  
口座名：外国人地震情報センター

## 1. 外国人被災者支援連絡協議会 代表者会

4月11日、KCC会館で外国人被災者支援連絡協議会の代表者会が開かれた。

<主な議題>

1. 事務局報告
2. 各代表の報告
3. 問題解決へのアプローチ

### ★事務局より

- ・メディアからの問い合わせがいくつもあった。FM Phoenix（兵庫県の震災特別FM局）からの出演依頼には、協議会を代表して村田神父が出演した。
- ・4月28日・29日、全国外国人労働者問題キリスト者フォーラムが、29日・30日は外国人労働者問題全国交流集会在、それぞれ大阪で開催される。（既述）
- ・代表に李炳（阪神大震災基督教連合現地対策委員会）氏を加えたい  
→次回幹事会で諮る

### ★各代表の報告

- ・村田（カトリック大阪教区）：ボランティアが激減。中山手教会の現地本部は22日で終了。「神戸センター」として今後も活動を続ける。
- ・李（KCC会館）：3月末日で現地本部を撤収、大阪・生野へ移動。
- ・裴（韓国人法律救援センター）：4月22日、長田区で「兵庫県定住外国人生活復興センター」が発足。民闘連、K&J、韓青連などがたち上げ。借地・借家関係の法律相談が多い。
- ・趙（在日大韓基督教会）：被災した信徒へ見舞金を支給。  
教会の修復にもコストがかかる。

### ★問題解決へのアプローチ

- ・日赤義捐金：4月3日の交渉（No.2参照）の返答がまだ返ってこない。  
2次配分へ向け、より具体的成果が得られる交渉が必要。  
→1次配分の経緯なども含め、兵庫支部長である県知事へ申し立てをしてはどうか？
- ・弔慰金・医療費についてもまず、マスメディア、NGOなどへ国内外問わずに状況を報告し、申し入れへの環境づくりが必要、との見解で一致した。リリース用の文面を外国人地震情報センターが作成し、次回幹事会で確認。

次回は．．．5月10日（水）17：00より代表者会・18：30より幹事会です。

## 2. 第9回地元NGO救援連絡会議／外国人救援ネット

4月17日、中山手カトリック教会で地元NGO救援連絡会議／外国人救援ネットの第9回会議が行われた。

<主な議題>

1. 県・市・NGO三者会議
2. 医療費
3. ベトナム人被災者の現況

### ★県・市・NGO三者会談

4月17日、外国人の医療費と弔慰金問題についての、県・市・NGOの第2回の会談を行った。（報告のみ）今後も継続的に会談を持つ。次回は5月2日。

## ★医療費

震災から3カ月たってもいっこうに事態が改善されず、弔慰金と共に厚生省の回答に縛られている現状を何とか変えて行かねばならない。そこで、「健保に加入できないものは緊急医療の対象にすら当たらない現状は、基本的人権を保障していない」との観点から外務省など、厚生省以外の中央を始め、内外を問わず意見書を発表する事になった。それを最後通告として、もし事態が改善されなかった場合は、「医療費立て替え募金」（仮称）を設立して一時的に外国人救援ネットで医療費を立て替える、それを本来国が支払うべきものだと国へ請求する、という方向でまず被災者の負担を軽くする事を決定した。

現在把握している高額医療費への対応以外にも、医療を受けるべき状況にありながら医療費が心配で医療を受けていない人へ「医療費を立て替える」人がいるという心理的解放をあたえることも目的にしている。

弔慰金については、外国人への支給のみならず、現行の支給対象全体についてまだ議論されている状況（旅行者への対応、遺族の範囲など）で、しばらくペンディング。

## ★ベトナム人被災者の現況

- 新湊川公園のテントに電気を引くことになった。灘・東灘などでも公園避難世帯へ電気が引かれている。
- 南駒栄公園ではテントからよりしっかりした仮住居様の建物が建ち始め、行政などから「定住化につながるのでは？」との声があがった。神田氏（被災ベトナム人支援連絡会議代表）は「そんなことは絶対ない。」と反論。
- 三宮でベトナム料理屋台を出していたが、ビル解体のため道路が封鎖されやむなく閉店。ペルー料理屋台も出店予定だっただけにくやまれる。代替地を探して再開を！
- FMイウメンが4月16日に開局。ベトナム語の他、スペイン語、フィリピン語でも放送する。周波数は76.2Mhz。周囲約5キロで聴取できる。震災1年後をめぐりに地域FMとして認可を受けたい。

\* 地元NGO救援連絡会議／外国人救援ネットの郵便振込口座ができました。

口座番号：01100-2-60701 口座名：外国人救援ネット

次回は4月26日（水）午前11時～ 中山手カトリック教会にて

## ■神戸ワンパクまつり 5月14日（日）■

神戸総合運動公園で。子供を対象にしたさまざまなイベントが行われる。外国人向けの屋台なども出店予定。お問い合わせは実行委員会 TEL: 078-232-4411 中央区ボランティアルーム内・池野さん、又は外国人地震情報センターまで。

## ■'95国際大運動会（'95 International Sports Festival Minoh） 5月28日（日）■

大阪府箕面市のサントリー箕面総合トレーニングセンターで。箕面市には大阪外国語大学など、外国人が関係している施設がいくつかあり、同じ地域に住む住民同士の交流を目的開催されます。今回は当初の予定を変更し、震災で被災された人々に数多く参加してもらいたいと、とくに外国人被災者の参加を募ってます。前日の27日夜は前夜祭が催されます。当日は国際電話の無料サービスや屋台など、外国人のためのイベントが盛りだくさん。参加はいずれも無料。お問い合わせは0727-22-3950、実行委員会、または外国人地震情報センターまで。